

令和3年10月1日より 定期点検制度改正のお知らせ



あさひ通信

第17号

2021年10月発行

発行

旭自動車株式会社
代表取締役 三澤 潤
〒990-2441
山形市南一番町 1-36
TEL 023-631-9366
FAX 023-642-3569

編集

メカニック / 小笠原 佐藤(し)・後藤(嗣)

令和3年10月1日より、定期点検制度改正により
車に搭載されているコンピュータOBD(車載式故障診断装置)の
点検を1年ごとに実施することが義務付けとなりました。

※2008年(平成20年)10月以降の車両は全て対象となります。※上記以前の車両でもOBD端子装着車両は全て対象となります。

車検や12ヶ月定期点検の際に下記の内容の点検を実施いたします。
基本料金の他に、車載式故障診断装置の点検料金が追加となります。

1 車載式故障診断装置の点検・診断内容

外部診断機を使用して電子制御装置の点検を実施いたします。



ペダル踏み間違い時加速抑制装置 自動ブレーキ(衝突被害軽減ブレーキ)

レーンキープアシスト アダプティブ・クルーズ・コントロール

自動運転システム関連装置

2 技術情報管理手数料 1台あたり一律 400円(印紙代)

※自動車メーカーが提供する故障診断に必要な情報を、自動車
技術総合機構が管理するシステムを運用していく為の費用です。
※車検の際、全ての車両にご負担いただく費用です。



皆様お元気でしょうか。最近の気候は何とも不思議？季節感が無いと言うか……と思うのは私だけでしょうか。さてさて、今回は令和3年10月1日より**車両法改正スタート**となります。私達もその準備で慌てておりますが、この改正は**新規に増設された法律**なので何事も初めての事になります。内容ですが、簡単に言えば昨今の自動車技術が目まぐるしく進歩し、眼に見えない情報処理により安全(サポカー)を提供しております。そこで今までの車検制度や点検制度では**任意であった項目が義務化される**運びとなりました。代表的なシステムとしては衝突軽減ブレーキシステムやレーダークルーズ機構(まだまだありますが…)などがあります。ニュースなどで耳にした事があるとは思いますが、本件がいわゆる「**OBD車検・OBD点検**」となりました。この点検は**1年に1回**点検して頂く項目であり「**義務化**」となったところです。点検された車両には点検ステッカーを貼り(リヤウィンドに予定)、実施されているかをどの整備工場に行っても判断できるようにすると聞いております。技術が進歩すればそれに見合った検査が増える。

ですが、安心安全を確保するためにも年に1度は検査を受けていただければと思います。私達も日々勉強し、すぐ対応できるよう研鑽してまいりますので、どうか宜しくお願いします。このあさひ通信が手元に届く頃には実際の作業が始まっていると思います。詳しくは弊社スタッフにお尋ねください。(三澤) ※1:OBD車検は令和6年よりスタートします。 (ポヤキもかねまして…)



皆さんいかがお過ごしでしょうか？
夏もあっという間に終わり寂しく感じるこの頃です。
そんな中、コロナ対策は万全でバイクのツーリングに行ってきました！
暑い時期でも寒い時期でもバイクは最高ですね。風を感じる事はとても気持ちの良いものです！**小さなバイク**ですが、これが意外と面白くハマってしまいます！皆さんが知っている観光地やツーリングスポットなんかあれば教えてください！ 佐藤(し)



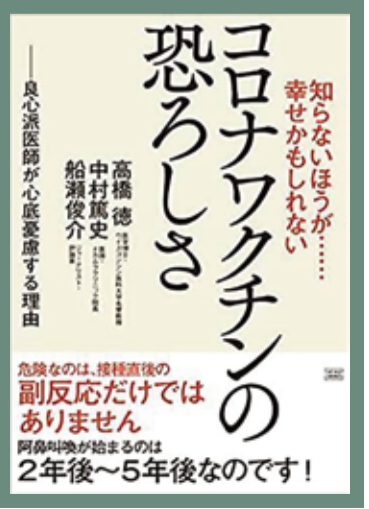
会社の後輩K君と海釣りに行って来ました。会社に8時に集合して、車を走らせること約2時間、いつものポイント最上川河口に到着です。**狙う魚は、スズキです。**

最近、ヒラメやマゴチも釣ってみたいです。到着してみると……うん？……うん？……うん？
風が予想してたよりも遥かに強い、
水の流れもかなり速い、
釣りになるのかなあと思いつつ風の影響が受けにくいポイントに移動して釣り開始。なかなか釣れない
4時間 釣りをしてアタリが一回だけ、厳しい！
違う場所に移動して釣り開始。ここでも、なかなか釣れない。……夜になって諦めかけていたら、突然、水しぶきが上がり**ヒット!!** 近くで魚が掛かったので暴れる
>なかなか弱くならなくて >ライン(糸)を調整し >ヒヤヒヤながら釣ることが出来



あきらめないこと!

ました。この日は、厳しい状況でしたが楽しい1日でした。(小笠原)



最近のオススメの1冊です。
国内の医師ら450人がワクチン接種中止を求めて嘆願書を提出したことはご存知でしょうか？本書の著者はその中の1人です。厚生労働省のデータや論文など様々な科学的根拠に基づいて分かりやすくワクチンの危険性についての論が展開されています。テレビではほとんど報道されないPCR検査の偽陽性による問題点やワクチンの成分、また有効性における数字のトリック等、興味深い情報を多く得ることができました。この本の全てが真実とは思いませんがタイトルだけ見てトンデモ本とは決めつけず、メディアリテラシーを高めるためにも多くの方に読んでいただきたい本です。 後藤(嗣)

クルマのことなら何でも
お気軽にご相談ください

なおすズ 検索

<http://www.asahijidousya.co.jp>

友だち登録 お願いします

旭自動車LINE@